

健康応援トピックス

受けよう！がん検診！～若くても検診は必要！～

現在、日本では2人に1人ががんになるといわれています。でも、がんは決して怖い病気ではありません。早期発見・早期治療により治る病気です。がんを早期に発見できるがん検診について正しく理解し、定期的にがん検診を受診しましょう。

がん罹患率が多い部位

愛知県 2020年

	1位	2位	3位	4位	5位
男性	前立腺	肺	大腸	胃	膀胱
女性	乳房	大腸	肺	胃	子宮



第二次健康づくり計画の中間評価より、市で実施しているがん検診の受診率をみると、いずれのがん検診も10%前後となっており、国が目標とする60%には程遠い状況です。

がんの罹患率は、40歳代から徐々に増加します。乳がんや子宮がんは、若い世代から罹患率が高くなる傾向があります。

がん検診は、症状のない早期の段階で発見することを目的としているため、定期的に受診していくことが大切です。がんは早期に発見し治療をすれば、9割以上の方が治ります。

職場等で受ける機会がない方は、是非この機会にあま市のがん検診をご利用ください。

あま市のがん検診については、がん検診ガイドや市公式ウェブサイトでご確認ください。

問 健康推進課 ☎ 443・0005

あま市民病院だより 夏の皮膚トラブルについて

2025年7月1日付で、あま市民病院 皮膚科に着任いたしました。

まずは皮膚外来として、地域の皆さまの皮膚に関するあらゆるお悩みに対応できる窓口を目指してまいりますので、よろしくお願いいたします。

季節は夏真っ盛り、お盆休みもあり、お出かけの機会が増えると思います。

屋外活動中の虫刺されや、植物によるかぶれは、皮膚がバリアとしての役割を発揮する半面、攻撃を受けることで、湿疹・皮膚炎の原因となります。

また、紫外線による日焼けは、やけどの一種であり、その部位が二次感染などをおこすと、傷自体が深くなり重症化することもあります。

発汗後のあせもは、その部分を繰り返し掻いてしまうことで湿疹を悪化させてしまいます。

このように皮膚症状は進行していきますので、これくらいのことで…とは思わずに、気になる症状がありましたら、かかりつけ医または、お近くの皮膚科にご相談をおすすめします。



あま市民病院 皮膚科 北野 十喜一

公益社団法人
MED 地域医療振興協会あま市民病院
Japan Association for Development of Community Medicine 〒490-1111 あま市甚目寺畦田1番地

～市民と連携機関に信頼され、健康と安心を提供する病院～

掲載に関するお問い合わせ：8:30～17:00（土日祝日を除く）



052-444-0050



052-444-0064

随時情報更新しています

ぜひお手元のスマートフォンのカメラ機能で読み込んでご覧ください

あま市民病院
公式ホームページあま市民病院
公式Facebook